



学校だより

令和8年1月30日

東京都立石神井特別支援学校

校長 中島 由美子

午年にあやかってうまくいく年に！と、3学期も元気に楽しく学び一人一人の目標達成を目指します。

「継続は力なり」で新たな気持ちで一步一步着実に進めながら、本年も皆様にとって健康で幸せ多い年となりますよう心から願います。

さて学期早々、外部講師による和楽器演奏やお囃子を見て聞いて一緒に体験したり、墨を使って書初めや墨絵を描いたりして日本の伝統文化に触れる学習をしました。

中学部のある学級では、書初めにどんな言葉を書くか考える際にAI（人工知能）を活用しました。自分の好きな事などをAIに伝え「四字熟語で教えて」などの条件を入れると、候補となる言葉が出てきます。生徒はAIが挙げたたくさんの言葉の中から、一つを選択しました。自分の大好きなアニメのキャラクターなどが四字熟語に発展し、墨で表現され鑑賞してみるとイメージと言葉が重なり新たな年の願いや目標になりました。（例：ピアノ演奏は「以心伝心」へ）

言葉には不思議な力があり、よい言葉は幸運をもたらす、とも言われます。うれしい気持ちになる言葉やポジティブな言葉や表現を積極的に使っていきたいものです。

来週は今年度のまとめの授業参観です。ご来校の際は、明るく温かい気持ちになる子供たちの作品もどうぞご鑑賞いただきますようお願いいたします。

○1月30日（金）から2月4日（水）まで、都政ギャラリーにて、東京都特別支援学校第3回総合文化祭「書道作品展」が開催されます。本校中学部生徒の作品も展示されますので、お時間がありましたらご覧いただければ幸いです。

○第10回東京都特別支援学校「アートプロジェクト展」が1月7日から16日まで上野の東京藝術大学美術館にて開催されました。全都から972点の応募があり、東京藝術大学美術学部の協力による審査の結果、選ばれた51点が展示されました。昨年に続き本校から中学部の生徒の作品（石膏板「いせき」）が見事に選ばれました。おめでとうございます。



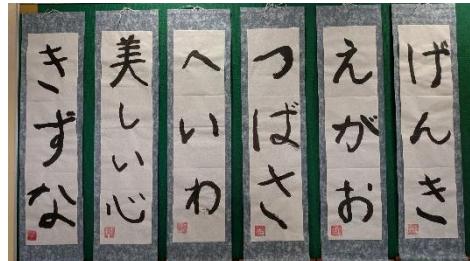
中3年 アートプロジェクト展



中学部 一人一人の願いを込めた書初め



小5年 墨で描きました



■日本の伝統文化の学習から

1月14日から16日にかけて、ただじゅんさんをお迎えし、お囃子や和楽器、語りを組み合わせた「お囃子劇場」の公演を行っていただきました。公演は3日間に分けて実施し、小学部1年生から中学部3年生まで、すべての学年の子どもたちが参加しました。

太鼓を叩きながらの語りから始まり、リズムに乗った呼びかけに、子どもたちは声を出したり、身体を動かしたりしながら、少しづつ舞台の世界に引き込まれていきました。

歌とともに演奏された三味線の音色は、日本の伝統を感じさせる心に染み入るもので、子どもたちの気持ちをわくわくさせてくれました。ここでは演奏だけでなく、ただじゅんさんの楽器との向き合い方が伝わる素敵なお話もありました。三味線や和太鼓は動物の皮を使って作られていること、演奏に使う道具にも自然の素材が用いられていることなど、日本の音楽が多くの命や自然の恵みに支えられていることを、やさしく分かりやすく伝えてくださいました。音楽を楽しめることへの感謝を感じる、印象に残る時間となりました。

獅子舞が登場すると、会場の雰囲気はがらりと変わりました。興味津々で近づく子もいれば、驚いて距離を取る子もあり、それぞれの反応がとても微笑ましく感じられました。縁起物の獅子舞に頭を噛んでもらい、今年一年の福を分けてもらう、貴重な体験ができました。

公演の最後は、全員参加の和太鼓演奏です。子どもたちは全員法被を身に着け、ただじゅんさんのリズムをまねするところから始め、やがて「わっしょい、わっしょい」と掛け声を合わせたり掛け合いをしたりしながら、会場が一つになって盛り上がりいました。

学年に関わらず、どの子どもたちもそれぞれの形で公演を楽しみ、音楽を感じ、表現することの楽しさを味わうことができたように思います。心に残る、温かいひとときとなりました。ただじゅんさん、素敵な公演をありがとうございました。

